

2020年4月号



おしどりの周りは三つ葉つつじ、チューリップ、水仙、桜と花盛りです。
新型コロナウイルスで様々な制限のある中ですが、いかにその方らしく、いつものように生活していただけるかを考えながら皆様と楽しく日々を過ごしています。「今できることを楽しんでやる!!」を常に心がけています
今月もよろしくお願い致します。



食事をするという事

「おはようございま〜す」大きな声で挨拶して下さる利用者さん、室内に入り「朝からいいにおいがする」「今日の献立はなにや?」「何か切っている音がする」と音や食材の香りで会話がはずみます。

食事後は「今日も美味しかったわ〜」「お代わりある〜?」「これどうやって味付けしてあるの?」と今日の献立の話で盛り上がります。

人間は視覚、味覚、触覚、聴覚、嗅覚といった五感を常に働かせながら生活しています。朝から料理を作る音や食材の香り漂う空間で少しずつ食欲が増し、食べたいなあという気持ちになり、胃腸が準備をして、出来上がった食事を見て益々食欲が増してくるのだと思います。

台所で調理の音や、作っている人の気配、美味しそうに漂う匂い等すべてが五感を刺激してくれます。

美味しいものが食べられる幸せは人にとって至福の時と変わります。

最近こんなことがありました。

二週間近く体調を崩し食欲も落ちて休んでおられた方が久しぶりにおしどりで昼食を取ろうとされたときに、目の前の食事を見て「こんなご馳走を・・・」と少し目に涙をうかべておられました。そして完食されました。共に食事をして美味しさを共有することで又食欲が湧いてくる。「生きる事は食べる事、食べる事は生きる事」です。仲間と美味しく食事出来る日々がいかに素晴らしいことかを感じます。新型コロナウイルスで大変な時期ですがバランスの取れた食事をとり免疫力をアップし、皆様に今日を!今を!元気に過ごして頂きたい。そんな思いを抱きつつ五感を十分に発揮しながら健康な日々を共に過ごして行きたいと思えます。



満開の桜を堪能した後はお花見弁当の昼食でした。桜ご飯や、煮物、フライやたくさんのお野菜でお腹いっぱい!!と皆さんが喜んでおられました。



生活リハビリをすることの意義とは・・・

自立・自律支援を目的として、今出来ること、したいことを支援し、行動にして頂くことを生活リハビリと考えています。ウォーキング・調理・音楽・手芸・習字etc、etc・・・一人一人の記憶・希望・夢に沿った活動を積極的に働きかけています。おしどりではこの生活リハビリを通して、「生きる」力を持っていただき「楽しめる人生」を過ごしていただきたいと願っています。

生活リハビリの活動

コロナウイルス感染予防のために、みなさんとマスクを作りました。それぞれの方々の世界に一つだけのマスクです。



元気に過ごしてまた来年もこの桜みたいなあ～



ウォーキング中で見つけた「いたどり」です。「小さいころ、これがおやつ代わりだった」と懐かしそうに摘んで見せてくださいました。



おしどりの畑は冬の野菜から春の野菜に変わりました。皆さんの手厚いお世話ですくすく育っています。

4月から新しく職員が仲間入りいたしました。宜しくお願い致します。



理学療法士
です



笑顔で頑張ります。